

エマージング社債市場アップデート -2018年4月3日-

株式市場とのデカップリング

月末にかけてリスク資産は反発し、グローバルでの貿易戦争や米国のテクノロジー・セクターに係わる懸念を払いのけました。エマージング市場も堅調に推移し、エマージング通貨は米ドルに対して上昇して、エマージング外貨建て債の高利回り国も反発しました。商品価格の動きはまちまちでしたが、原油価格が1バレル60米ドル台後半で安定したことが、エマージングのベータ値の高い資産の下支えとなりました。



アンソニー・ケトル
エマージング債チーム(社債)
シニア・ポートフォリオ・マネジャー

エマージング個別国市場での出来事

中国：北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長を迎え、中国は朝鮮半島情勢の解決に向けて重要な役割を果たして行くことが示されました。

インド：今年前半の予想外に良好な財政見通しを背景に、現地通貨建て債の金利が低下しました。

ロシア：米国は、スパイ疑惑問題に関連して60名のロシア外交官を国外追放しました。

トルコ：投資家が同国を回避していることで、通貨の安定とインフレ見通しを落ち着かせることを目的としてなんらかの経済政策が発表される可能性があるとの期待が高まり、トルコ資産は反発しました。

メキシコ：北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉において自動車関連の進展が見られ、7月の大統領選挙よりも前にNAFTAは同意される可能性があるとの観測が広まる中で、メキシコ・ペソが上昇しました。

バーレーン：7年のスクーク債を発行しました。セカンダリー市場の銘柄と比較してかなり割安な水準での発行となったことから、新発債は堅調に推移し、債券価格は発行後に2.5ポイント上昇しました。

今後の見通し

年初と比べて、市場は数多くの逆風要因に晒されています。金融緩和のゆっくりとした解消とそれに伴うLibor金利の上昇は、株式市場のボラティリティの高まりをもたらしました。予想が難しい米政権は、今は貿易面に注力していますが、このことも株式市場の動きを助長しており、嵐を巻き起こしています。

しかし、他のリスク資産が株式市場のボラティリティの高まりに追随していないのは興味深い点であると考えています。クレジット債や為替市場のボラティリティは落ち着いています。資産クラス間のパフォーマンスにはバラつきがみられ、エマージング現地通貨建て債市場は米ドル・ベースで年初来4%以上上昇しています(2018年3月末時点)。

クレジット債市場は、株式市場のボラティリティが高まる中でもかなり持ちこたえています。それを支えているのは、企業の磐石なファンダメンタルズであり、この下支えが今後も揺らぐことはないかを確認するために、来る業績発表シーズンは注視していきたいと考えています。

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 1029 号

一般社団法人 日本投資顧問業協会会員、一般社団法人 投資信託協会会員、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会会員

■手数料等

当社の提供する投資一任業に関してご負担いただく手数料や費用等は、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたします。最終的な料率・計算方法等はお客様との個別協議により別途定めることとなりますが、主な運用戦略ごとの手数料の上限は以下となります。

エマージングソブリン債戦略：年率 0.80%（税抜） / エマージング社債戦略：年率 1.05%（税抜） / ハイ・イールド債/ローン戦略：年率 0.85%（税抜） / 投資適格債戦略：年率 0.45%（税抜） / 投資適格債絶対リターン戦略：年率 0.90%（税抜） / グローバル・ソブリン・オポチュニティ戦略：年率 1.10%（税抜） 成功報酬 15%（税抜） / 金融ハイブリッド債戦略：年率 0.80%（税抜） / 転換社債戦略：年率 0.75%（税抜） / オルタナティブ戦略：年率 2.20%（税抜） 成功報酬 20%（税抜） / マルチクレジット戦略：年率 0.80%（税抜） / ダイレクト・レンディング戦略：年率 1.7%（税抜） 成功報酬 20%

なお、当社との投資一任契約は、原則、運用戦略に応じた外国籍投資信託を投資対象とします。上記手数料には、お客様から直接当社にお支払いいただく投資顧問報酬、外国籍投資信託に対して投資した資産から控除される運用報酬が含まれます。

この他、管理報酬その他信託事務に関する費用等が投資先外国籍投資信託において（ダイレクト・レンディング戦略については、管理報酬その他管理事務に関する費用等が投資先外国籍リミテッド・パートナーシップにおいて）発生しますが、お客様に委託された運用金額や運用戦略ごとに、あるいは運用状況等により変動いたしますので、その料率ならびに上限を表示することができません。手数料や費用等について詳しくは、弊社担当者にお問い合わせをいただくか、契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

■投資一任契約に関するリスク

投資一任契約に基づく契約資産の運用は、原則、戦略に応じた外国籍投資信託を通じて、実質的に海外の公社債、株式等の有価証券や通貨などの価格変動性のある資産に投資を行います。これら有価証券等には主に以下のリスクがあり、株式相場、金利、為替等の変動による価格変動、及び有価証券の発行会社の財務状況の悪化等による価格の下落により、外国籍投資信託等の基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って契約資産は保証されるものではなく、お客様の投資された元本を割り込むことがあります。また、デリバティブ取引等が用いられる場合においては、上記の価格変動等により、元本超過損が生じる可能性があります。運用による損益は全てお客様に帰属いたします。

価格変動リスク：有価証券の価格変動に伴って損失が発生するリスク

為替変動リスク：外国為替相場の変動に伴って損失が発生するリスク

信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により損失が発生するリスク

流動性リスク：市場の混乱等により取引ができず、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失が発生するリスク

カントリーリスク：投資対象国／地域の政治・経済、投資規制、通貨規制等の変化により損失が発生するリスク

なお、契約資産が持つリスクは上記に限定されるものではありませんのでご注意ください。リスクに関する詳細につきましては契約締結前交付書面又は目論見書等の内容を十分にご確認ください。

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社の書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途契約締結前交付書面等をお渡しますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家に相談の上、お客様ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

以上